オープンアクセスの意義と動向:

義務化、OA雑誌、そしてハゲタカetc.

講演内容

インターネットを通じて誰もが無料で学術情報にアクセスできる「オープンアクセス」は、知識形成やイノベーション創出を加速させるものとして世界的に進展しています。日本でも、公的資金による助成を受けた学術研究について、2025年度新規公募分から、学術論文および研究データの即時オープンアクセスが義務化されることになりました。今後、オープンアクセスを実施、推進するに当たって注意すべきことなどを、最新の状況を交えてご紹介いただきます。

この講演会は 全学対象のFD を兼ねています

(延期開催日) _{令和7年} **1.2 3** (木)

会場

[Web] Zoom

【来場】 徳島大学附属図書館本館3階多目的ホール

対象者

徳島大学の教職員、学生、一般

申込方法

下記URLまたはQRコードの参加申込 フォームからお申し込みください

https://forms.office.com/r/vNKPAv9K04

締切:1月21日(火)正午



研究分野

講師

受付・オンライン接続 14:00~14:30

開始時間(対面・オンライン)

14:30~16:30



佐藤 翔 氏

同志社大学 免許資格課程センター教授

情報通信/知能情報学 人文·社会/図書館情報学 人文社会情報学

【お問い合わせ】徳島大学附属図書館 総務係

TEL:088-656-7584(内線 82-6111) E-mail:tssoumuc@tokushima-u.ac.jp